

2021年10月1日

お客様各位

日本クレア株式会社
東京 A D 部
大阪 A D 部



弊社が生産するマウス・ラットの微生物検査項目について

Corynebacterium kutscheri および Salmonella typhimurium 検査回数変更について

拝啓 時下ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社で生産するマウスおよびラットにおける微生物検査項目の「*Corynebacterium kutscheri*・*Salmonella typhimurium*」について下記の通り変更いたしますことご報告いたします。これらの検査項目については1980年代当時、血清反応検査と培養検査を並行して実施することが推奨されておりました。近年では培養検査における菌分離が最適とされる状況となり弊社におきましても、過去歴および昨今の費用対効果を検証した結果、血清反応検査の検査回数を変更させていただく事と致しました。

弊社で生産するマウス・ラットの品質管理については一層の努力を重ねてまいる所存です。今後ともご支援とご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

	動物種	<i>Salmonella typhimurium</i>		<i>Corynebacterium kutscheri</i> ※2	
		血清反応検査	培養検査※1	血清反応検査	培養検査
現状	マウス	12回/年	12回/年	12回/年	12回/年
	ラット	12回/年	12回/年	12回/年	12回/年
変更後	マウス	4回/年	12回/年	4回/年	12回/年
	ラット	4回/年	12回/年	4回/年	12回/年

※1 培養検査項目は「*Salmonella* spp.」として検査

※2 *Corynebacterium kutscheri* の培養検査は現在「血液寒天培地」「FNC 寒天培地」を併用し実施いたしております。

■ 上記の変更は2022年4月度 実施 微生物検査より変更と致します。

以上